

平成 2 3 年度事務事業評価調書

平成 2 3 年度作成

平成 2 2 年度 実施事業	事務事業名 鷺別 3 0 号線改良事業
-------------------	----------------------------

区分	番号	名 称						
章	4	調和の中でふるさとを演出するまち						
節	3	道路交通網の整ったまちをつくる						
施策	1	総合的な交通網の整備						
小分類	1	道路網の整備・適正な維持管理						
主要な施策	2	地域幹線道路網の整備						
事務事業番号	007	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <td style="background-color: #f8d7da;">事務事業コード</td> <td>43112007</td> <td style="background-color: #d4edda;">事業開始年度</td> <td>平成 2 0 年度</td> <td style="background-color: #d4edda;">事業終了年度</td> <td>平成 2 5 年度</td> </tr> </table>	事務事業コード	43112007	事業開始年度	平成 2 0 年度	事業終了年度	平成 2 5 年度
事務事業コード	43112007	事業開始年度	平成 2 0 年度	事業終了年度	平成 2 5 年度			

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	鷺別 3 0 号線改良事業
------	------	------------	---------------

部 名	都市整備部	グループ名	土木 G
-----	-------	-------	------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

目的	<p style="background-color: #fff3cd;">（事務事業の実施目的を具体的に記載してください）</p> 道路（車道、歩道）整備により、通行者の安全を確保する。
手段（事業の内容・活動）	<p style="background-color: #fff3cd;">（目的を達成するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載してください）</p> 全体整備計画 道路延長 5 8 1 m 車道幅 7 . 0 m 歩道幅 2 . 5 m 平成 2 2 年度事業概要 道路改良・舗装工 車歩道延長 1 2 2 m 車道幅 7 . 0 m 歩道幅 2 . 5 m 用地買収 一式 移転補償 一式
成果	<p style="background-color: #fff3cd;">（事務事業の実施成果を具体的に記載してください）</p> 通行者の安全性・快適性を確保する。
根拠法令等	<p style="background-color: #fff3cd;">（事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載してください）</p> 道路法 補助金に係る予算執行の適正化に関する法律

指標の推移

区 分		単位	区分	22年度 実績	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標	整備延長	m	目標値	120	128	76	100	
			実績値	122				
			目標値					
			実績値					

事業費の推移

区 分		単位	22年度 決算	23年度 当初予算	24年度 見込	25年度 見込	26年度 見込	24～26 年度	
事業の 財源内訳	国庫支出金 名称	社会資本整備総合交付金	千円	16,703	22,200	13,800	16,800	30,600	
	道支出金 名称		千円					0	
	地方債 名称		千円	12,800	15,700	9,500	13,500	23,000	
	その他 名称		千円					0	
	一般財源 名称		千円	395	1,800	1,100	1,600	2,700	
合 計				29,898	39,700	24,400	31,900	0	56,300
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費		職 員	千円	4,387	4,130				
		嘱 託 員	千円	0	0				
		臨時職員	千円	0	0				
		合 計		4,387	4,130				

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後も市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 市道の整備であることと、民間に類似した事務事業がないことから、市が事業主体として実施することが妥当である。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ 道路の整備に向けて滞りなく進捗している。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのようにして向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ 道路（車歩道）の整備により歩行者の安全性を確保できる。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ 当該事業は本工事が主であり、工事の工種にコスト削減の要素がない。

担当グループによる評価

維持	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	本事業は道路（車歩道）の整備事業であり、事業区間の全部を完成して本来の効果を発揮するものである。
-----------	----------------------	--

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

維持	備考
-----------	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）